日本公認会計士協会

埼玉県会 CPAニュース

第５号 2008. 1. 1

CONTENTS

会長あいさつ …… 2
県知事メッセージ …… 3
東京会会長あいさつ …… 4
東京会副会長に就任して …… 5
事業報告 …… 6〜7
事務局だより …… 8〜9
会員コーナー …… 10〜11
県会業務推薦コーナー …… 12
名簿 …… 13〜15
編集後記 …… 16

新年のごあいさつ

日本公認会計士協会
埼玉県会　会長
宮原　敏夫

新年あけましておめでとうございます。平成20年度の新春を迎え、会員の皆様に心よりお慶びを申し上げます。また、埼玉県会の会務運営に日頃よりご協力いただきまして誠にありがとうございます。

さて、私どもの公認会計士業界は、平成19年度より、協会本部の会長は増田宏一氏に、また地域会としての東京会会長は尾内正道氏に交替し、新たな体制によって会務運営がスタートしております。協会本部の会務運営の基本方針は「公認会計士監査の信頼回復のため、我々自身の業務を見直し改善するとともに、協会の自主規制の充実、強化により、社会に見える形で自律的な改革を進めること」として、藤沼前会長の方針を踏襲し更に推し進めることとしております。地区会としての埼玉県会としても、東京会とともに、協会本部の諸施策に積極的に協力し、活動していく所存でおります。

また、本年の４月１日以降に開始する事業年度から「財務報告に係る内部統制の監査」、「四半期財務諸表の監査」が適用となり、公認会計士の業務はますます多忙になることは明らかです。このような状況の中で、夕張市の財政破綻の問題もあって、「地方公共団体の財政健全化に関する法律」が平成20年度決算より適用されることとなっております。この結果、地方公共団体の財務諸表の作成指導等の要請、更には地方公共団体の個別外部監査の対象が拡大するとともに、監査委員に財務のわかる外部専門家を登用することの指導等、公認会計士に対し様々な要請が地域社会から為されてくるものと思います。このような社会的要請に対し、埼玉県会としても社会貢献の一貫として積極的に対応していかなければならないと考えておりますので会員の皆様には、なお一層のご協力を是非お願い申し上げます。

埼玉県会の大切な事業であります研修会につきましては、県会事務所での研修会も定着してきており、CPE年間40単位は、県会事務所で受講できるCS放送による全国統一研修も含めますと十分確保されております。また親睦につきましては、ゴルフ会は年４回、ウォーキングは春と秋に実施しておりますが、更に大勢の皆様に参加していただき、楽しく行えればと考えております。奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

結びになりますが、私どもの業界を取りまく環境は、まだまだ混沌として、変化していくことが考えられますが、この変化をチャンスに変えて、本年が良い年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

埼玉から日本を変える
～埼玉発　全国発信～

埼玉県知事
上田　清司

日本公認会計士協会埼玉県会の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに平成20年度の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

経済のグローバル化等に伴い、企業を取り巻く環境は急激に変化してきております。こうした環境変化の中、公認会計士の皆様の役割は一層重要になっていると認識しております。皆様が専門知識を駆使し、社会の養成に応えるべく日々御尽力されていることに深く敬意を表する次第です。

さて、昨年８月より２期目がスタートしました。

私は就任以来埼玉を安心・安全な県にすることを第一に取り組んできました。警察官を増員し、地域の民間パトロール、経済団体や巡回事業者など多くの皆様に御協力をいただいた結果、治安が回復を続けています。

産業振興では、企業誘致大作戦、制度融資改革、創業・ベンチャー支援などに打ち込んだ結果、平成16年から18年の県内の事業所は増加数、増加率ともに全国２位と、成果が形になりました。

また、福祉・医療も充実を図り、障害者の就労支援や乳幼児医療費助成の拡大、ドクターヘリ専用機の整備などに努めてきました。

今年もこうした取組を充実するとともに、「みどりと川の再生」「行革日本一」「女性のチャレンジ支援」などにスピーディに取り組んでいきます。

「みどりと川の再生」では、自動車税を活用した基金を設置し、みどりの保全・創出を県民参加で進めていきます。また、２年程度でいくつかの川を集中的に清流にし、確かに変わったと感じられるような清流プロジェクトを成功させたいと思っています。

「行革日本一」では、全国で初めての外郭団体への天下り廃止や県民に対して日本一少ない職員数を実現しています。さらに、地方自治法第２条の「最少の費用で最大の効果をあげる」という基本を踏まえ、埼玉県を史上最小・最強の地方政府にしていきます。

「女性のチャレンジ支援」では、女性のキャリアアップと並行してパパ・ママ応援ショップの拡大やワークライフバランスの推進などの子育て支援策を進めます。

私はこれからは、地域社会でともに助け合う「共助」が重要だと思います。民間パトロールの成功を踏まえ、行政がつなぎ役となり、川の再生や子育て支援など社会全体でムーブメントをおこしていきたいと考えています。

制度融資改革により日本一の中小企業融資が実現でき、また、全国で初めて特別養護老人ホームの県単独助成制度を導入し、高校生の奨学金の貸付水準を日本一にしました。

私は今後もこうした先進的な成功事例を全国に積極的に発信し、埼玉から日本を変えるという大きな目標を持って取り組んでいきます。

そして、日本一がいくつもあることで県民の皆様が誇れる、ゆとりとチャンスにあふれた田園都市の集合体としての埼玉県の実現を目指してまいります。

皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、この１年が皆様にとり幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭所感

日本公認会計士協会
東京会　会長
尾内　正道

明けましておめでとうございます。

新年の年頭に当たりまして、埼玉県会の会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

埼玉県会の会員の皆様には、日頃から日本公認会計士協会東京会の会務運営に大変なご協力を賜りまして深く感謝いたしますとともに厚く御礼申し上げます。また、新執行部には埼玉県会の蛭川俊也会員が副会長に就任されました。９県会からの副会長就任は初めてと聞いております。

さて、昨年６月、酒井前会長の後を受けまして、東京会会長に就任いたしましてから、はや半年が経過いたしました。

この間、４名の副会長共々力を合わせて会務の運営に当たってまいりました。会長職の忙しさは予想を上回るものでした。特に、前年の日本公認会計士協会のガバナンス改革により、地域会長会議の議長に選任された結果、東京会の長年の要望でありました本部の副会長を兼任となり、責任の重さを痛感しております。

就任以来、地域会である東京会の活性化は、各地区会・県会の活性化を図ることにある、との信念のもと、各地区会を積極的に訪問いたしました。しかしながら結果としては33ある地区会・県会のうち自ら訪問できたのは３分の２の22会でした。東京会が如何に巨大な組織であるかを身をもって体験いたしました。

さて、今年はまた、公認会計士業界にとっても、また東京会にとってもより重要な年になるであろうことが容易に予想されます。

まずは年明け早々の２月に「東京会事務局が移転」いたします。移転先は現会館の隣に建設中の「ニッキン第２ビル」です。

５階から７階までの３フロアーをお借りします。面積は約166坪となり、現在のほぼ倍の広さとなります。分割使用可能な会議室や、会員用の談話室を設置する予定です。会議室は不足することが予想されますが、現会館の会議室、新ビル内に設置される会議室の借用などにより、会議の開催に支障の無いよう図りたいと考えています。また、使用面積の増加に伴い賃借料等費用の負担も増加しますが、費用の軽減に努めて参りたいと考えております。

また、業務的には公会計、中小監査事務所への支援等々具体的施策をどのように展開し、会員の皆様のお役に立てる地域会としての役割をどのようにしたら果たしていけるかを、ただ考えるだけでなく、いかにして実行に移してゆくかが今年の大きな課題であると認識しております。

この一年、気持ちを新たにして「会員のための東京会」を心がけて、役員の皆様のご協力をいただきながら会務運営に当たる所存です。埼玉会会員の皆様のご活躍を祈念しますとともに、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げまして新年の私の挨拶といたします。

東京会副会長に就任して

日本公認会計士協会
東京会　副会長
蛭川　俊也

この度の東京会役員選挙にあたり、諸先生方からのご支援を賜り、副会長に当選させて頂き、去る６月６日開催の日本公認会計士協会東京会の定時総会終了後副会長に就任いたしました。

私は埼玉県会会長終了後、東京会の監事を３期９年間努めましたので東京会の会務、業務内容を概観させて頂きました。

東京会の業務は敢えて云うならば東京都会が中心であり、他の９県会等は行政単位も違っておりますので、対応その他業務活動が希薄になっております。従って、従来の副会長は監査法人又は東京都内の地区会出身者が多く、県会出身者は私が初めてです。私が会長の時などは何故東京会の埼玉県会なのかという質問をよく受けました。

さて、今日ほど公認会計士業界の事が新聞記事やTV等のマスメディアの話題に上った事はなく、大変厳しい環境にあります。

社会・経済環境においても、バブル崩壊後失われた10年を経てやっと景気も回復基調になってきておりますが、様々な面で大きく環境が変化しております。政治についても地方分権、三位一体改革等が始まっています。

我々会計士業界においても、大手公開会社の監査中心の業態から地方において学校法人、社団・財団法人、地方自治体の包括外部監査等その範囲が拡大してきており、地方においてその果たすべき役割や責任は増加しています。

歴代県会長の悲願だった県会事務所が大宮ソニックビル８階内に設立され、CPE研修、役員会等に活用され地区会活動の拠点ができたことは大変有意義な事です。

日本公認会計士協会は全国単一会であり、業界の活性化は地域会の活性化であり、東京会の活性化は地区会の活性化に他なりません。地区会の活性化については、東京会組織ガバナンス改革PTが編成され、機関構成検討部会や地区会制度検討部会の中間報告が発表されていますが、地区会の組織改革は時間を掛けて検討しなければならないので、とりあえずは現行組織内で地区会の運用面について活性化出来る施策を掲げます。

・広報については、HPの作成、会報の発行、地元新聞紙へのPR掲載
・業務の拡充については、社団・財団の監事、民間の監査役、地方自治体の監査委員等推薦業務の支援
・会員への福利厚生・親睦については、弔慰金・見舞金の贈呈、人間ドック等健康診断、ゴルフ等趣味の会

以上の通りですが、今後は地区会と大手監査法人所属の会員との交流をはかり、大手監査法人の潜在パワーを地区会にも流入させ、また地区会の活動を大手監査法人所属の会員にも理解してもらい、興味をもってもらう必要があります。その１つに在住会員制度を発足させていますので、活発に参加を呼びかけていきたいと思います。

埼玉県会はほとんどの事業を行っておりますので、今後力を入れていきたいのは、公認会計士業務についての広報であり、特に地元地方新聞等へのPR活動です。公認会計士の職業の説明、地区会の役割を記載できれば、対外的普及に効果的な活動と考えられます。また地元の中学・高校・大学等教育機関へ制度の説明を行いたいと思います。

これらの施策を実行するには県会事務局を充実させ、活動をサポートする体制が必要ですので、交付金の増額等財政面においても支援していく必要があると思っています。

平成18年度　事業報告

（H18. 4 . 1 ～H19. 3 .31）

1．会員及び準会員数（平成19年３月31日現在）

会　　員	４０５名（内監査法人１社）
準 会 員	６０名
合　　計	４６５名
在 住 会 員	２６名

物故会員	井上　宣明　殿（平成18年４月６日）
	木下　英樹　殿（平成18年４月10日）
	村田善次郎　殿（平成18年７月28日）

2．事業報告（及び活動報告）

平成18年

４月６日㈭	親睦ゴルフ会
４月10日㈪	正副会長会
４月14日㈮	勉強会（ITの内部統制の理解）
４月17日㈪	埼玉県環境部「埼玉県廃棄物処理専門委員会委員」の推薦
５月８日㈪	埼玉県住宅課と面談
５月11日㈭	埼玉県中小企業再生支援協議会第１回全体会議
６月８日㈭	協会本部木曜講座（CS中継）
６月９日㈮	勉強会（ITコントロールの知識と評価）
６月10日㈯	正副会長会
６月12日㈪	監事監査
６月19日㈪	推薦委員会（役員改選）
６月22日㈭	トワイライトセミナー（職員対象）
６月29日㈭	協会本部木曜講座（CS中継）
７月４日㈫	常任幹事会・本部定期総会（CS中継）
７月８日㈯	役員会、定期総会、研修会（新会社法と中小会社の実務対応）、懇親会
７月12日㈬	親睦ゴルフ会
７月18日㈫	埼玉県社会福祉事業団監事の推薦
７月28日㈮	常任幹事会・推薦委員会
８月１日㈫～３日㈭	協会本部夏季全国研修会（CS中継）
８月23日㈭	東京会組織改革PT
８月27日㈰～28日㈪	親睦会・親睦ゴルフ会
９月４日㈪	埼玉友好士業協議会幹事会
９月６日㈬	日本司法支援センター説明会
９月８日㈮	勉強会（会計参与の行動指針について）
９月21日㈭	正副会長会
９月25日㈪	広報編集会議
８月27日㈬	東京会組織改革PT
10月２日㈪	日本司法支援センター埼玉事務所開所式
10月11日㈭～13日㈮	東京会９県会会長会議・ブロック会議・懇親ゴルフ会
10月13日㈮	勉強会（適用開始となった新公益法人会計基準の概要と実務対応について）
10月18日㈭～20日㈮	協会本部秋季全国研修会（CS中継）
10月19日㈭	正副会長会・広報編集会議
10月23日㈪	三県会会長会（埼玉・神奈川・千葉）
10月26日㈭	埼玉友好士業協議会幹事会
10月31日㈫	協会本部随時研修会（CS中継）・東京会組織改革PT
11月９日㈭	埼玉友好士業協議会親睦ゴルフ大会
11月11日㈯	巡回研修会川越大会（新会社法がスタートして／最近の監査事情）、懇親会
11月24日㈮	正副会長会・広報編集会議・推薦委員会
11月28日㈫	東京会役員会、
11月28日㈫	埼玉県中小企業振興公社外部監査人の推薦、埼玉県県営競技事務所に委員推薦
11月29日㈬	東京会組織改革PT
12月２日㈯	埼玉友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談会」
12月11日㈪	協会本部臨時総会（CS中継）
12月13日㈬～15日㈮	協会本部冬季全国研修会（CS中継）、常任幹事会東京会組織改革PT
12月14日㈭	東京会地区会検討会
12月15日㈮	埼玉県学事課訪問
12月16日㈯	常任幹事会、定例研修会（公益法人特別委員会報告／認会計士法の改革・ガバナンス問題について）、忘年会
12月18日㈪	東京会役員会
12月22日㈮～23日㈯	懇親会・親睦ゴルフ会

平成19年

１月１日㈪	埼玉県会CPAニュース第４号発行
１月５日㈮	埼玉県立長瀞げんきプラザに委員の推薦
１月６日㈯	正副会長・顧問・相談役会
１月16日㈫	東京会組織改革PT
１月19日㈮	埼玉県道路公社に外部監査人の推薦
１月22日㈪	東京会役員会・新年会
１月24日㈬	協会本部新春全国研修会（CS中継）
１月24日㈬	常任幹事会
１月26日㈮	埼玉県児童養護・児童自立支援施設協議会に委員会の推薦
２月５日㈪	東京会組織改革PT
２月６日㈫	研修会打ち合わせ、推薦委員会、定例研修会（幼稚園法人の検査と財務状況について/社会福祉法人の指導監査の状況について）
２月８日㈭	埼玉県済生会に監事を推薦
２月16日㈮	埼玉県友好士業協議会定例会・懇親会
２月19日㈪	協会中小監査事務所連絡協議会
２月22日㈭	法テラス「第１回地方協議会」
３月６日㈫	推薦委員会
３月７日㈬	企業局経営懇話会の委員を推薦、埼玉県健康づくり事業団に監事の推薦
３月22日㈭～23日㈮	協会本部春季全国研修会（CS中継）
３月23日㈮	東京会組織改革PT
３月26日㈪	埼玉県福祉部福祉施設監査課に非常勤公認会計士の推薦
３月27日㈫	東京会役員会
３月30日㈮	東京会組織改革PT

２月６日研修会

平成19年度　中間事業報告

（H19．4．1～H19.11.30）

1．会員及び準会員数（平成19年10月31日現在）

会　　員	４３３名（内監査法人１社）
準 会 員	１０４名
合　　計	５３７名
在 住 会 員	２７名

物故会員	浅井　深溢　殿（平成19年５月28日）
	石井　　隆　殿（平成19年９月１日）

2．事業報告（及び活動報告）

平成19年

- ４月１日(日)　埼玉県会ホームページ開設
- ４月２日(月)　埼玉県社会福祉法人認可等及び介護老人保健施設審査委員会委員の推薦
- ４月７日(土)　親睦ゴルフ会
- ４月13日(金)　勉強会（新しい決算書類の実務について）
- ４月13日(金)　埼玉県再生支援協議会と面談
- ４月23日(月)　東京会役員会、財団法人いきいき埼玉監事の推薦
- ４月17日(火)　埼玉弁護士会新執行部・日本弁護士連合会副会長就任披露パーティ
- ４月19日(木)　新都心ビジネスプラザ　オープン記念式典
- ４月28日(土)　定例常任幹事会
- ５月９日(水)　埼玉県中小企業再生支援協議会全体会議、ソニックシティ防火管理推進会議
- ５月20日(日)　飯能新緑ツデーマーチ
- ６月４日(月)　定例常任幹事会
- ６月５日(火)　士業協会等と知事との意見交換会
- ６月６日(水)　東京会定期総会
- ６月８日(金)　監事監査、月次勉強会（地方公共団体包括外部監査について）
- ６月14日(木)　協会本部木曜講座（CS中継）
- ６月28日(木)　協会本部木曜講座（CS中継）
- ７月４日(水)　本部定期総会（CS中継）
- ７月７日(土)　本部夏季終日セミナー（CS中継）、定例常任幹事会
- ７月14日(土)　役員会、定期総会、研修会（財務報告に係る内部統制の評価と監査）、懇親会
- ７月16日(月)　副会長小山彰会員御尊父通夜
- ７月24日(火)　親睦ゴルフ会
- ７月27日(金)　東京会地区会長会
- ８月３日(金)　日本工業経済新聞社（埼玉建設新聞）と面談
- ８月６日(月)　上田知事激励会
- ８月22日(水)　定例常任幹事会
- 8月22日(水)～24日(金)　協会本部夏季全国研修会（CS中継）

平成19年

- ９月２日(日)～３日(月)　懇親会、親睦ゴルフ会
- ９月４日(火)　正副会長会
- ９月５日(水)　埼玉県立川の博物館指定管理者選定委員会委員の推薦
- ９月12日(水)　山西省友好記念館及び埼玉県長瀞総合射撃場指定管理者選定委員会委員の推薦
- ９月12日(水)　埼玉県友好士業協議会幹事会、推薦委員会
- ９月14日(金)　財団法人埼玉県産業文化センター外部監査人の推薦
- ９月14日(金)　法テラス第２回地方協議会
- ９月20日(木)　埼玉県立武道館指定管理者選定委員会委員の推薦
- ９月22日(土)　フォーローアップ研修会（財務報告に係る内部統制の有効性及び不備の影響の評価）、埼玉県会CPAニュース編集打ち合わせ
- ９月27日(木)　財団法人いきいき埼玉外部監査人の推薦
- 10月４日(木)　埼玉友好士業協議会幹事会
- 10月12日(金)　月次勉強会（会社法による中小企業の再建手法はこう変わる）
- 10月17日(水)　９県会会長会議
- 10月18日(木)　公認会計士フォーラム神奈川大会
- 10月24日(水)　定例常任幹事会
- 10月24日(水)～26日(金)　協会本部秋季全国研修会（CS中継）
- 10月31日(水)　財団法人埼玉県公園緑地協会外部監査人の推薦
- 11月１日(木)　埼玉友好士業親睦ゴルフ大会、防火管理者推進会議
- 11月３日(土)　日本スリーデーマーチ
- 11月５日(月)　定例常任幹事会
- 11月10日(土)　巡回研修会川越大会（埼玉県中小企業再生支援協議会の話）
- 11月12日(月)　埼玉県公益法人認可等審議会委員の取次ぎ
- 11月17日(土)　埼玉友好士業協議会「よろず相談会」
- 11月21日(水)　正副会長会、埼玉県国民健康保険団体連合会外部監査について取次ぎ
- 11月26日(月)　PSA（パブリックセクターアカウンティング）研究会

７月14日定期総会

４月７日ゴルフ会

総務

荒井　伸夫

新年明けましておめでとうございます。埼玉県会の会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

宮原会長のもと総務担当の副会長を仰せつかって２年目に入りました。今年の特徴は、埼玉県その他の地方公共団体や埼玉県出資法人その他の団体からの外部監査人や監事等の推薦依頼が多数埼玉県会に寄せられてきていることです。これも、ひとえにこれまでの埼玉県会の活動が広く認知されてきた結果かと思われます。しかし、推薦委員会を開催して、会員の中からその都度個別に推薦者を決めていく従来の方法では限界にきています。そこで、勉強会と情報交換会をかねてPSA研究会を設立しました。

PSA（パブリックセクターアカウンティング）研究会の設立

既にご案内のように、公的部門からの業務推薦依頼を受けて、その勉強会と情報交換をかねてPSA研究会を設立しました。今後、年３～４回の勉強会を開催する予定です。公会計に興味のある会員、外部監査に参加してみたいと思っている会員は、是非当研究会に登録していただき、共に公会計の基礎を学びながら各種の外部監査や監事等に従事していただければと思っております。委員会への登録は随時受付けていますので、県会事務所までご連絡下さい。

埼玉県会としては、事務所の立地の良さを十分に活用しながら、研修や親睦を深め、広報活動や業務拡大に努めていきたいと思っています。

本年も皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

事務局

池本　和子

皆様には、清々しく新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は念願の埼玉県会ホームページを開設いたしました。旬な情報をお伝え出来ればと思っております。また、皆様にご満足いただけるよう、より一層サービスの充実に努めてまいりますので、ご意見・ご要望等、何なりとお寄せ下さい。

本年もよろしくお願い申し上げます。

業務

西川　正純

新年明けましておめでとうございます。

今年度も業務の担当をさせていただいております。

昨年度に引き続き、多くの会員の皆様に対し、県会に推薦依頼のあった業務の推薦（下記「推薦状況」に記載）を行ってくることができました。今後も埼玉県をはじめ各関係機関との連絡を諮り、会員の皆様の推薦を行っていく予定であります。県会ホームページ上でも、推薦依頼を受けている業務につきまして、都度掲載しておりますので、関心のある会員の方は県会事務局へご連絡いただきますようお願いします。

推　薦　状　況

推薦月	団　体　名	内　　容	人数等
平成18年４月～19年３月			
継続	埼玉県宅地建物取引業協会	宅地建物取引主任者法定講習会の講師派遣	５名
	埼玉県中小企業再生支援協議会	埼玉県中小企業再生支援協議会協力メンバー	13名（登録）
	さいたま市産業創造財	さいたま市産業創造財団登録公認会計士	10名（登録）
４月	埼玉県廃棄物処理施設専門委員会	専門委員	１名
７月	社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団	監事	１名
11月	財団法人埼玉県中小企業振興公社	平成18年度外部監査人	１名
	競輪開催業務委託事業者審査委員会	審査委員	１名
１月	埼玉県立長瀞げんきプラザ食堂運営業者選考委員会	選考委員	１名
	埼玉県道路公社	外部監査人	１名
	埼玉県児童養護・児童自立支援施設協議会　子どもサポート・施設評価委員会	評価委員	１名
２月	埼玉県済生会	監事	１名
３月	財団法人埼玉県健康づくり事業団	監事	１名
	企業局経営懇話会	経営懇話会委員	１名
	埼玉県福祉部福祉施設監査課	平成19年度社会福祉施設等指導監査に係る非常勤公認会計士	１名
平成19年４月～			
４月	埼玉県福祉部/埼玉県社会福祉法人認可等及び介護老人保健施設審査委員会	審査委員	１名
	財団法人いきいき埼玉	監事	１名
９月	埼玉県立川の博物館指定管理者選定委員会	選定委員	１名
	埼玉県環境部指定管理者選定委員会	選定委員	１名
	財団法人埼玉県産業文化センター	外部監査人	２名
	埼玉県立武道館指定管理者候補者選定委員会	選定委員	１名
	財団法人いきいき埼玉	外部監査人	１名

スリーデーマーチ

研修

小山　　彰

新年明けまして、おめでとうございます。

埼玉県会の会員の皆様には、健やかに平成20年の新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

さて、私が研修の担当として、「県会だけでCPE40単位を取得できる」ことを念頭に会務に取り組んで参りまして、１年半が過ぎようとしております。この間、立地条件の良い県会事務所を、有効に活用できたのではないかと考えています。

具体的には、従来から実施していおりました年３回の定例研修、巡回研修及び協会研修のCD-ROMによる勉強会、CS放送を活用した本部主催集合研修会などです。

また、研修会のテーマにつきましても、公会計、公益法人会計（社会福祉法人会計・学校法人会計）、税務、会社法、内部統制等々非常に多種・多様なテーマで実施できたのではないかと思います。これも、皆様のご助言・ご協力の賜物であると、心より感謝申し上げます。

本年も、様々な企画を考え、より一層県会事務所を活用できればと考えております。会員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

平成19年度　実績及び予定

月　日	テ　ー　マ	場　所	参加者	講師名	単位
４月13日	月次勉強会（新しい決算書類の実務について）	県会事務所	19名	集合研修CR-ROM平山孔嗣	3
６月８日	月次勉強会（地方公共団体包括外部監査について）	県会事務所	15名	集合研修CD-ROM佐野勝正	3
６月14日	木曜講座	県会事務所	11名	（CS中継）	6
６月28日	木曜講座	県会事務所	10名	（CS中継）	6
７月４日	本部定期総会	県会事務所	24名	（CS中継）	4
７月７日	夏季終日セミナー	県会事務所	24名	（CS中継）	6
７月14日	定期総会	KSビル８階ホール	57名	――	1
	研修会（財務報告に係る内部統制の評価と監査）	KSビル８階ホール	61名	土田義憲氏（公認会計士）	3
８月22～24日	夏季全国研修会	県会事務所	253名	（CS中継）	18
９月22日	フローアップ研修会（財務報告に係る内部統制の有効性及び不備の影響の評価）	県会事務所	23名	土田義憲氏（公認会計士）	3
10月12日	月次勉強会（会社法による中小企業の再建手法はこう変わる）	県会事務所	14名	集合研修CD-ROM	4
10月24～26日	秋季全国研修会	県会事務所	55名	（CS中継）	18
11月10日	巡回研修会川越大会（埼玉県中小企業再生支援協議会の話－金融機関は中小企業の何を見ているのか－）	川越福祉センター	18名	川鍋隆氏（埼玉県中小企業再生支援協議会）	4
12月10日	本部臨時総会	県会事務所	11名	（CS中継）	3
12月15日	研修会（新会社法施行後の法人税務）	ソニックシティ	52名	石黒徹哉氏（税務第一委員会）	4
12月19～21日	冬季全国研修会	県会事務所		（CS中継）	18
１月17日	新春全国研修会	県会事務所		（CS中継）	6
２月８日	研修会（未定：学校法人会計）	ソニックシティ		埼玉県学事課	4
３月17～19日	春季全国研修会	県会事務所		（CS中継）	18
				平成19年度合計	132

平成20年度　予　定

月　日	テ　ー　マ	場　所	参加者	講師名	単位
4月11日	月次勉強会（テーマ未定）	県会事務所		集合研修CD-ROM	
6月13日	月次勉強会（テーマ未定）	県会事務所		集合研修CD-ROM	
7月12日	定期総会	未定		――	
	研修会（テーマ未定）	未定		未定	

広報

平山　孔嗣

あけましておめでとうございます。

広報を担当させていただき２年目になりました。お蔭様でホームページも本格的に稼動いたしました。県会会員の皆様へのタイムリーな情報提供の場として、コミュニケーションの場として役割を充実させてゆきます。本ホームページは一方通行の情報伝達ではなく、会員の皆様からのご意見、ご要望を出来るだけ吸い上げる場としての役割を重視しています。また、外部に対しましては、機会を捉え、公認会計士の役割、重要性をアピールし信頼と共に業務拡大につながるように努力してまいります。この点につきましては会員の皆様の業務実績が公認会計士としての広報活動につながりますので、一層のご協力よろしくお願いいたします。

親睦

内田　俊二

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、ご健勝にて和やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の親睦ゴルフ会、懇親会の実施状況は下記のとおりです。又、昨年は第５回飯能新緑ツーデーマーチ（飯能市）と第30回日本スリーデーマーチ（東松山市）のウォーキングの会に参加し、春は新緑の天覧山10キロコースを完歩し、秋は紅葉間近の森林公園10キロコースを完歩。アフターは東松山名物の焼鳥をビールと共に賞味し、健康的で楽しい懇親のひとときがもてました。

ゴルフ会・ウォーキング

４月７日	吉見ゴルフ場	参加者14名
５月20日	飯能新緑ツーデーマーチ	参加者７名
７月24日	小川カントリークラブ	参加者13名
９月３日	妙義カントリークラブ	参加者８名（前泊懇親会付）
11月１日	鴻巣カントリークラブ	参加者11名（埼玉友好士業協議会親睦）
11月３日	日本スリーデーマーチ	参加者12名

懇親会

７月14日	総会懇親会	参加者42名（パレスホテル大宮）
11月10日	川越懇親会	参加者14名（酒蔵はっかい川越）
12月15日	恒例忘年懇親会	参加者38名（ソニックシティ）

なお、本年も県会としては、「会員の皆様方の交流と親睦をさらに深めるため」ゴルフ会、懇親会等を継続すると共に、皆様からのご意見やご要望などをいただきながら、健康的な楽しい企画を立ててゆきたいと思っております。

終わりに、会員の皆様のご健勝を祈念いたしますと共に今後のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

公認会計士法等の一部を改正することについて

稲山十四助

公認会計士法は、カネボウ事件、西武事件や、また其の他の残念な不祥事件が生ずる度に、それを律し再発を防止する為に法律、規制等が厳しく整備改正されることは当然である。

平成17年４月１日以降強制適用された監査意見表明のための委託審査もその一部である。ただ現在の法律で規定されている大会社等の範囲に規定されている会社の中で経済問題等を含み、法律の一部改正を望んでいる会社がある。経済問題もその一例であるが、強制適用された監査意見表明のための委託審査の報酬もその一つである。被監査会社が負担しかねるので実際担当公認会計士側で負担している実例もある。

又会社発足の主旨は高邁な理想を掲げ設立し、20数年経だが、経済事情の変化、地域の特殊事情、其の他の事情により零細企業の規模を脱しきれない会社を大会社等範疇から保護及び一考する方法を考えるべきではないかと思う。

この様に、平素から思っていることを特に協会の会議等で意見を述べようと思っていた。

そこで、日本公認会計士協会藤沼亜起会長が平成18年２月３日にさいたま市大宮区のソニックシテイビル８F、埼玉県会研修会にこられ、14時30分より16時迄講演をなされた。演題は「日本公認会計士協会の組織・ガバナンス改革について」であり、内容の濃い講演であった。

日本公認会計士協会会長が、自ら埼玉県会へこられたことは、かつてない非常に重要な意義のあることであった。終了後、同じくソニックシティビル８階にある新装された埼玉県会事務室及び研修会議室を見学された。

その後、披露パーティーをパレスホテル大宮４F「アイリス」にて開催した。その懇親会時にメインテーブルにお邪魔して会長に平素思っている零細な被監査会社のことにつき直接申し上げた。その意見の主旨は次の公認会計士法等の一部を改正する時に考えるべき会社とは、例えば資本金５億円未満、年間売上高５億円未満かつ負債総額100億円未満・株主総数150名以下の非上場金融商品取引法監査対象会社については大会社等の監査人の様ではなく、①同時提供の禁止　②ローテーションルールの適用　③単独監査の禁止　等については、例えば上記一定規模未満の会社については除外規定を考えるべきではないかと、藤沼亜起会長に申し上げたのであります。増田宏一副会長及び熊木雄太郎県会会長も隣席に座られたのでこのことはご存知だと思います。

尚、この外のご来賓は、酒井繁東京会会長、木村久彌東京会元会長、遠藤忠宏本部常務理事、奥山弘幸本部常務理事の諸先生方と菅野誠東京会事務局長の皆様がご出席された。

以上申し上げたとおりであり、平成19年度になってそれぞれ主張し続けた意見が採択されそうな見通しとなった。

まず第一に中小事務所の品質管理体制について次の通り研修会があり出席した。

平成19年10月13日㈯　13時30分～17時
明治大学リバティータワー1012教室
「中小監査事務所の品質管理体制について」
講師　日本公認会計士協会常務理事
（中小事務所等施策調査会担当）
日本公認会計士協会品質管理委員会委員
公認会計士　柳沢　義一　先生

第二として、平成19年10月10日、午前10時より12時まで、CPA会館地下大ホールに於いて研修会があった。議題は「公認会計士法等の一部を改正する法律・関係法令・内閣府政令等について」であり、講師は日本公認会計士協会　増田宏一会長である。

出席役員として、日本公認会計士協会副会長、並びに品質管理委員会友永道子会長外の先生方が数名立会われた。

講義内容としましては、私が永年主張し続けた意見についても、取り上げられた様である。勿論私自身の主張というより多数の先生方よりも同意見が出されていたと思う。又協会としても資本金５億円以下の会社を、株式上場等の実質的な大会社と同一に取扱うにはなにか差し障りがあったのではないかとも思われる。

ともあれ、私が言い続けた問題が今度の法改正に取り上げられ解決したのである。

公認会計士法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令・内閣府令案等の公表について。

本件について意見があったら､10月29日（月）17時（必着）までに、氏名又は名称、住所、所属及び理由を付記の上に、金融庁総務企画局開示課へ郵便・ファックス又はインターネットにより多くのCPAの方々の意見を提案してほしいとの事であった。

正当な意見は臆することなく提案すべきで、今度の場合は政府機関に出すのであるから尚有意義である無意見ではよりよい制度構築にはならないと考える。

これまでの経緯と今後のスケジュール、

2006年（H18年）12月：金融審議会公認会計士制度部会　「公認会計士・監査法人制度の充実・強化について」

2007年（H19年）６月27日：公認会計士法の一部を改正する法律の公布

⇒2007年（H19年）９月28日：金融庁　関係政令・府令（案）等の公表
意見書提出期限10月29日（月）17時まで

⇒2007年12月：日本公認会計士協会臨時総会が予定されている。
会則・規則等の改正
〔特定社員（非CPA）受け入れ、上場会社監査事務所部会における開示〕

2008年（H20年）改正法の施行日は４月１日を予定しているとのこと。

公認会計士法の一部を改正する法律
（平成19年法律第99号「改正法」）
の試行に伴い、関係政令・内閣府等について、所要の整備等を行う。

改正法の施行の日〔同法の公布の日（平成19年６月27日）から起算して１年を超えない範囲において政令で定める日〕から施行される。

Ⅰ　監査法人の品質管理・ガバナンス・ディスクロージャーの強化
Ⅱ　監査人の独立性と地位の強化
Ⅲ　監査法人等に対する監督・責任のあり方
Ⅳ　その他
監査報酬の開示・監査人交替時の対応

大会社等の範囲
大会社等の監査人＝①同時提供の禁止、②ローテーション・ルールの適用、③単独監査の禁止

1　会計監査人設置会社〔政令で定める者を除く〕
2　金融商品取引法監査対象会社〔政令で定める者を除く〕
3　銀行・保険会社等

※非上場の金融商品取引法監査対象会社で、一定未満〔資本金５億未満又は売上高（３年平均）10億円未満、かつ負債総額200億円未満のもの〕のものを除外とある

永年本部主権研修会、共同組合主催研修会、政治連盟主催等の研修会の時に主張し続けて来たことが平成20年４月１日より実質的にみとめられることになりそうである。

以上

我が子を巡る雑感

中村友理香

早いもので母親歴もまもなく９年となり、長男に加え３年前に次男が誕生してからは、「母ちゃんパワー」はさらにアップしてきた（されてきた？）ような気がします。２人の男の子の母ともなると、静かに本を読んだり、子供たちと一緒にショッピングを楽しんだりというのは別世界の話。現実はハードで、週末毎にあちこち遊び場へと連れだし、有り余る彼らのパワーを発散させるのがもう１つの私の「お仕事」となっています。

加えて平日にゆっくり勉強を見てやれない分、土日は「ママゴン」と化し、びしびしと口と共に時たま手が飛び出し（息子よごめんね）、「体と共に頭も少しは発達してね」と勉強をさせているつもりですが、当の長男本人はどこ吹く風。たぶん私が話している10のうち９は左の耳から右の耳へと通り抜けているに違いありません。

片や５歳離れた弟はまだ一緒に勉強するにはほど遠く（その前に早く夜のおむつを取るのが先という声あり）、勉強時間中は兄に私を取られてしまうため、少しでも自分に興味を引きつけようと、机の周りで歌を歌ったり、踊ってみたり。勉強タイム毎にこれらがくり広げられ、まあうるさいことこの上ない！の状態です。

しかし、大変といいつつも、子供と一緒に行き先をいろいろ考え、動物園や博物館等へ出かけるひとときは、私の楽しみの一つとなっています。自分自身も自営業の子供として生まれ育ったため、休日毎にあちこちと出かけたという記憶が物心ついてからはそれほど残っていません。そのため子供と一緒に遊び場へ出かけることでもう一度自分自身も子供時代に戻って体験しているような気分となり、とても新鮮な時間となっています。今度はどこへ行こうかなと近場のおすすめスポット情報を眺めつつ、週末の予定を考えるとわくわくしてきます。

しかし、行き先を色々と考えている穏やかな時間とはうって変わり、実際に出歩く時の大変さ。５つ年の離れた兄弟の興味の対象はてんでばらばらです。目を離すと全く違う方向へと一目散に走り出していってしまいます。しかし、すごいスピードで動き回っていても、帰りの電車に乗った瞬間には熟睡状態となり、まさにゼンマイ仕掛けの人形のゼンマイが突然切れてしまったかのごとくで、見ていて本当に飽きません。

全く別のことでよく感じるのは、男の子と女の子の違いです。たいてい女の子は「だめよ」といわれるとたとえやりたくても我慢する子の方が多いのに対し、男の子にとっての「だめよ」は魅惑の誘い言葉に聞こえるらしく、必ずと言っていいほど「やってしまう」ことが多いと思います。例えば、水たまり、どろんこいっぱいの道路で「入っちゃだめよ」といっても、次男はうれしそうに普段の靴で、ばしゃばしゃ、ぐちょぐちょ、大胆に汚します。また、「洗濯機は危ないから近くに寄らないでね」と声をかけても、わざわざ自分用の補助いすを持ってきてよじ登り、洗濯機のふたを開け、渦巻く洗濯槽の中をじっと見ていたりするのです。

まあ全く君たちのやることは・・と笑い飛ばせるのはまだ精神的に余裕があるとき。怒り爆発状態になるのはたいてい自分の仕事が忙しいとき。ということで子供に対する声のかけ方で自分自身の精神状態も自ずとチェックできることになっています。

困ったとき、悲しいとき、うれしいとき。どんなときでもありのままの子供たちを丸ごと受け止め、共感してあげることのできる母になりたいと常に思っています。彼らと一緒では「優雅で素敵なママン」にはとてもなれそうにはありませんが、子供達の拠り所となる「肝っ玉母さん」に少しでも近づくことができるよう、寄り添ってあげたいと思っています。現実は厳しく、ゆったりと子供達のペースにあわせて過ごすことができないのは悲しくもありますが、それもまあ私流。今ある時間を最大に楽しみ、精一杯濃厚に日々楽しく過ごしていきたいと思っています。

宅建法定講習会

飯野　浩一

蓮田市の飯野浩一と申します。埼玉県会に所属したのは平成９年であります。県会行事にはほとんど参加できずにおりましたが、ソニックで研修が行われるようになってから、蓮田からですと非常に便利になり、集合研修を受講するために県会事務所に時々お邪魔しております。

そんなこともあり、事業をどんどん若手に引き継いでもらうという埼玉県会先輩方の趣旨のもと、埼玉県会で受託している社団法人埼玉県宅地建物取引業協会の取引主任者法定研修会の講師を本年拝命いたしました。自分が若手か？という疑問はさておき、ありがたく受けさせていただきました。全17回を４名で分担し、実施しています。

「改正税制の主要な改正点と紛争事例及び実務上の留意事項」というタイトルで、テキストは主催者側に用意していただき、私たちはサブテキストとして、パワーポイントを利用しながら進めていきます。毎回100名程度の受講者で、この研修を受講しないと主任者としての資格が更新できないため、受講態度は皆さん良好で、あまり眠らずに受講していただいています。

私自身の経験は、10名～20名程度でどちらかというと顔見知りの多い会で話させていただく場はありましたが、今回のような人数の場は初めてであります。最初の１回目については非常に緊張いたしましたが、現在は３回を終了しまずまず落ち着いてまいりました。また、サブテキストとしてのパワーポイントのデータ作成は、先輩から前年分をコピーさせていただきそれをベースに作成したものの、慣れない作業のため時間を相当とられました。しかし、おかげさまで簡易なプレゼンテーションであれば作成できるようになったと自負しております。

受講生の方には、せっかく受講していただくので、少しでも何かを持ち帰っていただきたいとは思うものの、不動産の取得・保有・売却の３局面の税の主要な改正点となりますと非常に多方面にわたり、70分という時間の中でどこまでそれが出来ているかと考えると？？？ではありますが、自分なりにコツコツとやっていくしか術はなさそうです。

受講生の方からは、毎回アンケートを回収しており、かなり厳しいストレートな意見も頂くことがあるようですので、きついクリスマスプレゼントがやってくるようで現在戦々恐々としております。

何はともあれ埼玉県会から派遣される者として、恥ずべきところのないよう、本年度残り２回の講義を無事に楽しく実施してきたいと考えています。最後になりますが、このような機会と助言を与えていただいた埼玉県会の諸先輩方にあらためて感謝申し上げます。

日本公認会計士協会埼玉県会　　平成19年度　役員名簿

（H19.11.30現在）

役員名		氏名	
会長		宮原 敏夫	
副会長	総務	荒井 伸夫	
〃	親睦	内田 俊二	
〃	広報	平山 孔嗣	
〃	業務	西川 正純	
〃	研修	小山 彰	
監事		櫻井 茂	
〃		岡山 和愛	
常任幹事	研修	猪鼻 正彦	
〃	広報	大谷 益世	
〃	広報	河合 明弘	
〃	研修	佐久間 仁志	
〃	親睦	佐野 勝正	
〃	業務	田山 毅	
〃	総務	土屋 文実男	
幹事		石井 喜浩	岡庭 武利
		賀川 寛一郎	河合 あゆみ
		清水 秀雄	原口 博
		宮田 英生	村田 憲司
顧問		鈴木 義夫	多田 広光
		堀 一男	塩原 春夫
		藤野 廣治	真下 和男
		山本 清次	三間 邦夫
		蛭川 俊也	吉島 一良
		坂本 隆信	熊木 雄太郎
相談役		石山 豊	海野 亀男
		西川 一郎	稲山 十四助

埼玉県会地域別会員名簿（平成19年10月31日現在）

地区		正会員	準会員	会員数 正	準	計
南部地区	北本	池田　政治　勝田　重道　木村　繁男　佐藤　尚義　松村　栄	中田　昭弘	5	1	6
	桶川	松岡　樹生　松田　正典　三間　邦夫(顧)	斎藤　祐馬　松田　志史	3	2	5
	伊奈	町田　賢朗		1	0	1
	上尾	井上　克典　小松　修二　小宮山　司　佐藤　孝　齋藤　敏雄 鈴木　稔巳　瀬川　則之　関口　長吉　田中　更二　橋村　義憲 三上　幹夫　宮田　英生(幹)　若松　謙維	西郷　篤	13	1	14
	さいたま市 大宮区	赤澤　賢史　網野　誉　荒井　伸夫(副)　飯塚　正貴　石川　岩雄 伊藤　英明　井上　広明　入江　陽子　内田　和男　浦野　雄二 岡本　尚樹　小河原崇生　奥村　英昭　長田　慶洋　小野田　元 加藤　由久　鎌田　竜彦　木村　邦彦　工藤　道弘　久保壮一郎 熊谷　信考　栗原　由武　小島洋太郎　小宮山　榮　後藤　徳彌 佐渡　一雄　宍戸　祐介　柴田　知香　白濱　拓　鈴木　舞 関端　京夫　髙井　健介　髙橋　正勝　田島　一郎　筑紫　徹 寺山　昌文　冨岡慶一郎　中島　茂喜　中森弥生子　西平　哲 野口美恵子　信澤　康一　信澤　山洋　萩原　篤　原口　博(幹) 原田　泰人　福田　厚　松島　稔　松田　道春　松本　榮一 松本　茂　森田　忠宏　森田　亨　矢部　謙二　山沢　邦明 山田　真司　山本潤一郎　吉田　守一	安達　岳夫　阿部　大亮 荒井　克浩　枝　大樹 大原　誠　小倉　章 木島　紹史　篠崎　裕文 鈴木　康雄　高橋　将光 田中　保隆　洞口　卓継 戸山　雄介　中塩　修司 布施　知芳　増田亜希子 松尾　塁	58	17	75
	北区	飯倉　哲成　菅野　豊　崎谷　寿　中島　信　福岡　幸一	宇賀神貞夫　西川　英樹	5	2	7
	西区	内山　義雄　深谷　豊		2	0	2
	見沼区	大金　忠宏　奥原　主一　加沢　義晴　島田紘一郎　深井　忠 松原　令枝　松本　直子		7	0	7
	中央区	猪俣　秀毅　遠藤　隆光　垣沼　一郎　河合　明弘(常)　河合あゆみ(幹) 木村　尚　小林　正和　小宮　一浩　坂本　隆信(顧)　髙橋　昌男 原田　裕子　福家　弘行　古屋　卓己　村田　憲司(幹)	新井　直毅　新江　孝 福田健太郎	14	3	17
	浦和区	青柳　立野　石田　惠美　内田　俊二(副)　大久保　明　小澗　直子 賀川寛一郎(幹)　神本　昇　川邊　茂　齋藤　史郎　櫻井　茂(監) 佐竹　正幸　鈴木　義夫(顧)　髙柳　健一　竹井　光美　土屋文実男(常) 富田　吉昭　長島　良亮　中村友理香　日原　智彦　保坂　圭作 柗平　智　丸岡　裕　宮城由美子　宮原　敏夫(会)　村田　英孝 矢野　豪士　横山　一朗	阿久津　聖　加藤　裕之 小林　啓孝　島村　英 塚原　龍雄　松縄　豊	27	6	33
	桜区	関口　俊雄		1	0	1
	緑区	石井　満　海野　亀男(相)　大石　勝　北原　英治　桐岡　弘幸 木暮　友喜　森山　武芳　吉田　俊行　渡邉　喜夫	山口　和徳	9	1	10
	南区	相場　俊夫　板橋　信夫　岩渕　均　奥角　仁　小柴　正光 後藤　俊二　込田　彊　佐分　紀夫　龍田　有理　高野　寧績 髙橋　陽介　田村　道明　都築　秀美　橋詰　正夫　長谷川孝至 前田　清澄　眞木　和久　増田　一	伊東　知文　北島美和子 田中　建二　番家　薫	18	4	22
	岩槻区	安齋　亮三　相原甫二雄　秋葉かおり　岩波　一泰　角田　浩 塩原　修藏　塩原　春夫(顧)　塩原　史子　田山　毅(常)	山根　英樹	9	1	10
			（さいたま市　計）	172	38	210
	蕨	雨堤　正博　神津　重人　小林　順一　多田　広光(顧)　中川　幹也 野田　光二　平山　孔嗣(副)	向田　隆義	7	1	8
	川口	青木　忠幸　磯貝　光一　植野　和宏　奥村　達也　勝長　祥 加藤　雅則　鎌田　融彦　小林　環　小山　彰(副)　佐々木　武 佐瀬　俊道　齊藤潤一郎　齋藤　一将　櫻井　秀秋　佐藤　實 佐藤　純也　佐藤　昌彦　清水　秀雄(幹)　新村　公剛　田井　貴彦 高野千代治　高橋　守　丹沢　好治　近田菜生子　中桐　則昭 中込　眞次　中村　明弘　西浦　正和　野島　一男　藤野　廣治(顧) 増田　善久　宮一富士男　矢島　賢一　吉野　恭平　米田　正巳 森住　恵二　渡部　行光	河合　春奈　小嶋　祥人 小山　敦　佐々木祐介 下條　光裕　畑中　秀友 信夫　修	37	7	44
	鳩ヶ谷	小池　克德　根本　秀人	上野　洋	2	1	3
	草加	秋濱　政志　浅野　典久　伊藤　忠士　猪股　世紀　猪股　宏之 飯塚　由明　長内　温子　関根　敬子　谷　篤志　冨岡　桂子 中島　英男　堀野　暁　三根　健一	糸田川　周　内倉　滋 南　伸一	13	3	16
	戸田	大村　雅司　小川千恵子　久保出健二　熊木雄太郎(顧)　小池　亘 杉本　清文　杉本喜代美　髙橋　謙一	遠藤　英樹	8	1	9
	和光	石塚　兼也　柴崎　智延　世古　尚俊　橋本三喜男　谷内　守	久野　聡	5	1	6
	朝霞	荒井　薫　稲山十四助(相)　加屋野　究　高柳　尚視　新里　智弘 根津　光弘　長谷川臣介　福田　武彦　宮野尾幸裕	遠藤　努　千葉　恭平	9	2	11
	新座	今村　正宗　岡本　芳郎　春日　敏彦　橋本　成俊　平山　剛	村岡　欣典　山北　文也	5	2	7
	志木	赤尾敬一郎　有賀　美典　飯島　錠二　岩間　晃一　上原　由夫 渋谷　大　関本　享　三木　正志		8	0	8
			南部地区　合計	266	56	322

※地域区分は、事務所所在地による

	地区	正会員	準会員	会員数 正	準	計
西部地区	東松山	鳥海　隆雄　堀　一男(顧)　眞下　和男(顧)　山崎　剛		4	0	4
	坂戸	小倉　伸太　角野　崇雄　川村　義則　小池　一男　西川　裕康 栁澤　亨		6	0	6
	川越	安藤　隆允　阿部　軍喜　伊藤　宏美　猪鼻　正彦(常)　猪鼻　嘉行 石山　豊(相)　大澤三千雄　岡田　章　荻野　博司　栗原　章 佐久間仁志(常)　佐野　勝正(常)　鈴木　悟　関口　智和　田中　伴一 田中　宏　長岡　勝美　西川　一郎(相)　西川　孝博　西川　正純(副) 堀江　英夫	倉持　四郎	21	1	22
	富士見	髙波美弥子　當麻　政悦　松田　隆志　芳原　勝伸	川島　剛　福田　政彦	4	2	6
	ふじみ野	平林　素子	齊藤　洸	1	1	2
	狭山	栗原　洋一　坂野　好邦　茂中美喜夫　清水　善規　鈴木　康弘 関根　一彦　髙栁　清　寺田　芳雄　中村　英明　久富　繁雄 宮川　惠一	市川　圭介	11	1	12
	所沢	岩﨑　力也　上本　壽雄　柏谷　道正　川﨑　勝之　北原　義仁 久朗津英夫　斉藤　武司　酒井　敏彦　関　博之　大東　幸司 田中　勝　髙尾　賢　橘　宣洋　近澤　優司　鶴藤　洋 貫井　正之　早坂　昇一　舟越　進　町田　和宏　宮城　秀敏 森　巨樹　山口　雅弘　山中　幸雄　横井　貴　米倉　礼二	秋山　義之　石倉　瞬 菊池　真理　小寺　雅也 小林　一夫　白井健二郎 鈴木　春陽　永田　祐介 諸星　国彦　吉田　正之	25	10	35
	飯能	嶋田　昇　吉島　一良(顧)　吉島　力良	池田　五郎　森　和夫	3	2	5
	入間	関谷伊和男　田中　清一　中村　透　牧　哲郎	赤池　直也　近藤　俊介 仲田　吉徳	4	3	7
	日高	野村　昌弘	越智　一英　橋本　理	1	2	3
	鶴ヶ島	海老澤敏夫　橋爪　和夫		2	0	2
	滑川	佐藤　正恒		1	0	1
			西部地区　合計	83	22	105
北部地区	熊谷	石井　喜浩(幹)　石久保善之　大谷　宏一　大谷　益世(常)　荻野　八郎 金井　千尋　木本　英男　田代　充雄　能見　孟俊　蛭川　俊也(顧) 本塚雄一郎　明光監査法人	毛山　裕史　佐藤　丈公 佐藤　愛彦	12	3	15
	深谷	黒須　克仁　武田　哲　塚原　昭二		3	0	3
	本庄		今村　祐介	0	1	1
	鴻巣	大塚　和恵　清水　正　中澤　隆	坂本　雅也　蓮原　亮 元氏　元	3	3	6
	吉見	木村　毅	根岸　泰文	1	1	2
	秩父	小泉　眞人　肥沼　秀司		2	0	2
	岡部	小林喜一郎		1	0	1
			北部地区　合計	22	8	30
東部地区	羽生	小野崎陽子　土橋　宏章　松本　猛		3	0	3
	加須	高野　勝良　原　稔		2	0	2
	久喜	向後　真徳　佐藤　直司　永田　勲		3	0	3
	蓮田	飯野　浩一　飯野　雪男　小川　進	三田健一郎	3	1	4
	春日部	池田　博行　磯山　昭一　尾池　辰義　大澤　究　尾花　淳 神足　勝彦　重岡　裕介　小池久美子　田中　彰治　西島　大充 廣瀬　哲也　廣瀬　令子　矢島　和彦　山本　清次(顧)	酒井　雄一　柴田　英樹 中塚　拓也	14	3	17
	越谷	飯塚　岩男　薄井　賢治　大沢日出夫　大鷲　雅一　清田　亮 田久保武志　髙野　悦雄　為ケ谷喜一郎　中村　甫尚　西村　光弘 長谷川俊晴　藤原　拓也　星山　厚興　堀　友嗣　松村　俊夫 丸山　陽司　水嶋　正樹　森原　哲也　渡井富志雄	今市　哲則　藤井　美明 本田　幸一　安田　英則 山本　佳史	19	5	24
	三郷	岡庭　武利(幹)　今西　崇雄　富樫　信子　山下　勝矢	鈴木　努	4	1	5
	八潮	久保　勝裕　福野　幸央		2	0	2
	吉川	北林　啓司　野口　千春	池野　智章　小山　修平	2	2	4
	杉戸	松村　隆		1	0	1
	白岡	岡山　和愛(監)　岸川康太郎　坂巻　仁志　山口　高志	岡安　俊英	4	1	5
	幸手	菅谷　君一		1	0	1
	宮代	板橋　正志　中村　仁	高木　雅和	2	1	3
	栗橋	山中　裕之		1	0	1
	松伏		武田　望美　歩行田大樹	0	2	2
	鷲宮		松尾　佑一	0	1	1
			東部地区　合計	61	17	78
			埼玉県会合計（公　開）	432	103	535
			〃　（非公開）	1	1	2
			埼玉県会総合計	433	104	537

在住地区会員						
磯部　正昭	江口　俊治	遠藤　忠宏	太田　啓之	岡田　清	奥山　弘幸	神山　敏夫
川口　宗夫	楠山　正典	久保　直生	黒澤　誠一	河野　幸久	小島　昇	權田　俊枝
佐々木直彦	神保　正人	高橋　達夫	高山　康明	對島　和也	中村　元彦	野口　和弘
野崎　一彦	船山　卓三	本間　利雄	宮島　博和	余語　直樹	和田　正夫	（合計27名）

＊凡例＝（会）：会長　（副）：副会長　（常）：常任幹事　（幹）：幹事　（監）：監事　（顧）：顧問　（相）：相談役

編集後記

第５号いかがでしたでしょうか。

少し写真を増やしてみましたが、毎年、少しずつ変化をさせてみたいと思います。次号は、数多くの方から原稿を頂きたいと思っています。突然県会から原稿の依頼が行きますが心の準備をしておいて快く引き受けてください。楽しい会報を目指します。

テーマは勝手ながら「赤」ウィアー・・・〝！！

（孔）

日本公認会計士協会 埼玉県会
〒330-8669
さいたま市大宮区桜木町１－７－５
ソニックシティビル８Ｆ
TEL：048-644-9050　FAX：048-644-9054
E-Mail : kenkai@jicpa-saitama.jp
URL : http://www.jicpa-saitama.jp

埼玉県会 CPAニュース
発 行 人：埼玉県会会長　　宮原敏夫
編 集 人：副会長広報担当　平山孔嗣
印 刷 所：株式会社 正文社
写真提供：西川正純　川越まつり（表紙）